

沖縄県総合運動公園における プールの改築について

令和8年7月
沖縄県

目次

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 はじめに | 4 施設整備に必要な機能について |
| 2 事業予定地の現状について | 5 想定される事業手法について |
| 3 現施設の課題について | 6 アンケート調査の実施について |

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

1 はじめに【プールの改築事業の背景】

- ◆ 沖縄県では、令和16年(2034年)に第88回国民スポーツ大会(以下、「国スポ」という。)及び第33回全国障害者スポーツ大会(以下、「全スポ」という。)の開催が予定されています。
- ◆ 「第2期沖縄県スポーツ推進計画」では、沖縄県のスポーツ振興のコンセプトとして「スポーツアイランド沖縄」の形成を掲げており、スポーツを通じた地域・経済の活性化を目指しています。
- ◆ 県においては、令和16年の国スポ・全スポを契機として、「スポーツアイランド沖縄」の実現を加速させることを目指しています。

方針① 生涯スポーツの推進

老朽化した施設を国スポ開催をきっかけに改修を行うことで、県民の健康・長寿の実現のため、生涯を通してスポーツを楽しめる環境を推進する。



方針② 国内公認基準を満たした施設整備

国内外で活躍するトップアスリートの輩出にむけた環境を整備する。



方針③ スポーツ交流拠点の活性化

年間を通じたスポーツイベントの開催で、交流拠点の活性化を図るとともに、世界大会等の国際試合の誘致や、プロスポーツ競技の合宿誘致を強化する。



方針④ 地域経済の発展

国スポを契機に、官民連携をさらに強化させることでスポーツアイランド沖縄を加速化させる。



沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

1 はじめに【プールの改築事業の背景】

- ◆ 一方、国スポ・全スポの開催に向けては、大会の施設基準を満たしていない施設が多いことから、施設整備が課題となっています。
- ◆ このうち、水泳競技については、令和7年度に実施した県有施設等詳細調査を踏まえ、沖縄県総合運動公園プールを改築し、国スポの開催基準を満たす施設とすることを検討しています。

■主な県営水泳プールの所在地



(google mapより作成)

■水泳競技の開催候補地(案)

	競技種目		備考
	国スポ	全スポ	
沖縄県総合運動公園水泳プール	水泳	—	- 老朽化が著しく、改築が求められている - 現施設はいずれの競技についても国スポの施設基準を満たしていない
	アーティスティックスイミング		
	水球		
奥武山公園プール	飛込	水泳	- 躯体や設備の健全性はおおむね維持されており、計画的な修繕により継続利用が可能 - 現施設は飛込の国スポの施設基準に適合 - 敷地の制約等から、屋内化は困難

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

2 事業予定地の現状について【沖縄県総合運動公園の現状】

- ◆ 沖縄県総合運動公園は昭和62年に開催された海邦国体の主会場として整備が進められ、70.4haの広大な敷地に、スポーツゾーン・森と水のゾーン・海浜ゾーンを有する広域公園です。
- ◆ 公園北側には水泳プールを含む6つのスポーツ施設があり、公園南側は、サイクルセンターや望水亭、オートキャンプ場があります。
- ◆ スポーツのみならず、レジャーや文化交流を含めた複合的機能を有する沖縄県内最大級の総合運動公園として幅広く多くの県民に親しまれています。

■総合運動公園マップ



■公園概要

項目	概要
所在地	沖縄県沖縄市比屋根5-3-1
種別	広域公園
計画面積	70.4ha
供用面積	60.55ha
施設概要	- 陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、テニスコート - 水泳プール、体育館、修景池、管理事務所 - レクリエーションプール、レストハウス - オートキャンプ場、多目的広場、レクリエーションドーム - 冒険広場、森の広場、サイクルセンター、駐車場

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

2 事業予定地の現状について【沖縄県総合運動公園水泳プールの現状】

- ◆ 水泳プールへのアクセスについて、公園内への入り口は全部で7か所ありますが、公園北側の比屋根口、かりゆし口、西口付近にある駐車場経由で来場されることが一般的です。
- ◆ 公園内には大小10か所の駐車場があり、水泳プール付近にも最大570台程度の駐車が可能ですが、イベント等の開催時には駐車場が不足することもあります。



■総合運動公園マップ(水泳プール付近)



■水泳プール付近の駐車場台数

駐車場	駐車可能台数
比屋根口駐車場	84台
かりゆし口駐車場	25台
北口駐車場	115台
中央口駐車場	339台
大型バス駐車場	11台(大型バス)
合計	574台(大型バスを含む)

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

2 事業予定地の現状について【沖縄県総合運動公園プールの現状】

- ◆ 公園北側に位置する沖縄県総合運動公園プールは海邦国体の開催に当たって整備され、屋外50mと屋内25mを有しています。
- ◆ 現状、観客席がないこと等により、屋外50mプールでの大会は開催されておらず、一般利用に供されています。

■施設の概要

項目	仕様・概要
構造・表層	【屋内25mプール】 本体:RC造 床:タイル 梁・柱:鉄骨造 屋根:鉄骨造 温水対応可 【屋外50mプール】 本体:RC造 床:タイル
建築・延床面積	延総面積6,182㎡ 【25mプール】(日本水泳連盟公認) 25m×13m水深1.4m～1.2m 競泳6コース(屋根開閉式) 【50mプール】(日本水泳連盟公認) 50m×23m水深1.8m～1.4m 競泳9コース(屋外)
建築年	昭和61年(1986年)3月【築40年】
法定耐用年数	処分制限期間15年(2001年) 使用見込み期間30年(2016年)

■25mプール



■50mプール



沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

2 事業予定地の現状について【沖縄県総合運動公園水泳プールの現状】

- ◆ 現在の施設は25mプールの利用が中心となっており、近年は高齢者の利用が増加傾向にあります。
- ◆ 一方、6～9月にかけては、水温が30℃を超える日が多く、高水温リスクが課題となっています。

■沖縄県総合運動公園水泳プールにおける利用者数

年度	合計利用者数	50mプール利用者数	25mプール利用者数	高齢者利用者数 (65歳以上)	高齢者比率
R4	36,197人 (開放日:5月～3月)	3,235人	32,962人	8,118人	22.4%
R5	33,162人 (開放日:4月～1月)	3,515人	29,647人	8,324人	25.1%
R6	37,570人 (開放日:5月～3月)	2,615人	34,955人	10,811人	28.8%

■沖縄県総合運動公園水泳プールにおける水温30℃以上の日数

年度	プール	5月	6月	7月	8月	9月
R6	屋内プール	14日	26日	27日	26日	26日
	屋外プール	—	10日	27日	26日	26日
R7	屋内プール	26日	26日	26日	27日	25日
	屋外プール	8日	20日	25日	27日	25日

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

3 現施設の課題について

- ◆ 現在の水泳プールは竣工から40年が経過しており、施設の老朽化やバリアフリー不足をはじめとする複数の課題抱えています。
- ◆ 国スポの開催時期に合わせた早期の施設整備が求められています。

■沖縄県総合運動公園水泳プールが直面する課題

気候変動等により
屋外プールでの安全・快適
な利用が難しい

- ・ 夏季は水温上昇が常態化し、利用者の熱中症リスクが高まっている。
- ・ 冬季は水温低下による利用制約が大きく、通年での安定利用ができない。
- ・ 大雨、落雷に伴う競技の一時中断の事例もある。

県民が通年利用できる
県有施設が不足している

- ・ 県営プールの温水施設は、老朽化した県総25mプールのみ。
- ・ 大会や専用利用と重なると、冬場の一般利用が制限される。
- ・ 高齢者、幼児、障がいのある方など、幅広い県民が安全・快適に利用できる環境が十分でない。
- ・ 屋内公認50mプールがない県は8県のみ。

県内に屋内公認長水路がなく、
競技開催・競技力向上に
制約がある

- ・ 県営プールには公認の屋内長水路がないため、冬場に県内で長水路の練習や大会ができない。
- ・ 練習環境と大会環境が確保できず、競技力向上の面も不利な状況にある。

老朽化の進行と
バリアフリー不足

- ・ 県総は昭和56年の海邦国体を契機に整備された施設であり、老朽化が進行。
- ・ 設備不具合が多く、今後も維持更新コストの増加が見込まれる。
- ・ ユニバーサルデザインへの対応が不十分で、バリアフリー面でも現在の水準を満たしていない。

令和16年国スポ開催に迅速な
整備が求められる

- ・ 令和16年開催の国スポ水泳競技会場として、県内には施設基準を満たす施設がない。
- ・ 新たな屋内公認プールの整備には、構想・設計・財源調整・整備工事に加え、運営体制の構築や競技環境の検証にも一定の期間を要する。
- ・ このため、令和16年開催を見据えると、効率的かつ迅速な施設整備が必要である。

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

3 現施設の課題について

- ◆ 現在の水泳プールは各競技の国スポ施設基準を満たしておらず、国内プールAA規格への適合をはじめ、基準を満たした施設の整備が求められています。
- ◆ また、日常利用を支える施設として、県民の安全な通年利用、バリアフリー向上を実現することが求められています。

■国スポ施設基準との適合性

競技	国スポ競技施設基準の要件		適合判定
競泳	1	国内プールAA(国際基準)公認規則に適合	×
	2	長さ50.2M(タッチ板設置する場合)	×
	3	幅25M以上	×
	4	水深2.00M以上	×
	5	水温25℃～28℃	×
	6	コース数10レーン	×
	7	レーン幅は0と9レーンは2.40m1～8レーンは2.50m	○
	8	プール両幅の余裕0.10m以上の休息棚の幅以上	×
	9	自動審判装置A級又はAA級を常設	×
	10	練習施設/事情が許す限り50Mプールを併設するとし、設置できないときは25mプールでも可	○
アーティスティックスイミング	1	国内基準アーティスティックスイミング競技プール	×
	2	競技区域は、最低15.0m×20.0m以上の長方形区域	×
	3	面積中央ゾーン12.0m×12.0m正方形	×
	4	水深2.5m中央ゾーン3.0m以上	×
	5	水温27℃以上	×
	6	プールの水は水底まではっきり見えるよう透明でなければならない	○
	7	スターティングプラットフォーム幅4.0m高さ0.7m(公差±1cm)滑りにくい素材で覆われ速乾性の防水カーペット	×
水球	1	国内基準公認水球プール	×
	2	男子面積長辺33.3m(ゴールライン間30.0m)短辺20.0m	○
	3	女子面積長辺28.32m(ゴールライン間25.0m)短辺20.0m	○
	4	水深1.8m以上	×
	5	水温25℃～27℃	×
	6	バウンダーライン:ゴール後方0.30m位置設置	×
	7	ゴールライン:壁から1.66m以上	×

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

4 施設整備に必要な機能について【対象敷地及び諸室の想定】

- ◆ 以上の課題を踏まえて、沖縄県では沖縄県総合運動公園水泳プールの改築による水泳プール整備を予定しています。
- ◆ 対象敷地や必要諸室は以下の内容が想定されますが、詳細は今後の検討状況によって変更の可能性あります。

■施設整備の対象敷地(案)



■想定される諸室(案)

区分	項目	内容
導入機能(競技要件に関わる中核機能)	競技用プール	10レーン、レーン幅2.5m、水深2.5m以上、50mプール(可動壁・可動床を検討)
	観客席	固定+仮設で2,500席以上、バリアフリー対応(車いす席含む)
	スタート台・ターン壁	最新規格に準拠、タイム計測システムと連動
	電気時計・大型スクリーン	自動計測機器、電光掲示板、大型映像配信設備
付帯設備(運営・観客サービス・選手サポート)	選手関連施設	更衣室・シャワー室拡充、25mウォームアッププール、ドーピング検査室、メディカルルーム
	大会運営関連	役員控室、審判室、メディア対応スペース、放送・音響・記録運営室
	観客サービス	ロビー・休憩スペース、売店、トイレ多目的化・収容力強化
	駐車場	周辺含め200台以上を確保
	建築機能	原則屋内化、空調・除湿設備、太陽光発電・ZEB対応など省エネ設計

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

5 想定される事業手法について【想定される事業手法の整理】

- ◆ 新たな水泳プールの整備にあたっては、従来手法に加え、民間ノウハウの発揮等のメリットが期待できるPPP/PFI手法の活用も含めて検討を行っています。
- ◆ 現在、沖縄県総合運動公園全体に対して指定管理者制度を導入しているため、施設整備後の維持管理・運営の在り方を含めて最適な事業手法を検討します。

■想定される事業手法

①従来手法

従来方式	基本設計	実施設計	建設	維持管理・運営	
	個別発注	個別発注	個別発注	年度発注	年度発注

②PPP/PFI手法

②-1 施設整備のみを事業範囲とする手法

DB方式 PFI(BT)方式 等	基本設計	実施設計	建設	維持管理・運営	
	包括発注			包括発注	

②-2 施設整備から維持管理・運営までを事業範囲とする手法

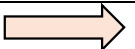
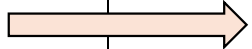
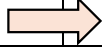
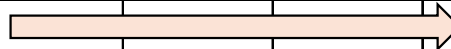
DBO方式 PFI(BTO)方式 リース方式 等	基本設計	実施設計	建設	維持管理・運営
	包括発注			

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

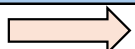
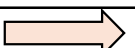
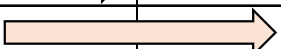
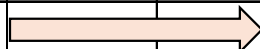
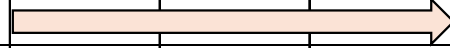
5 想定される事業手法について【本事業の工程】

- ◆ 今後の事業工程について、令和16年に国スポの開催と、前年の大会リハーサルの実施を踏まえ、令和14年中に新たな水泳プールを整備する必要があります。
- ◆ 採用する事業手法によって事業工程は変わるため、今後の検討によって最適な手法・工程を検討します。

■事業実施工程(従来手法)

作業項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
基本計画									
国庫申請									
基本設計・実施設計									
各種手続き等									
解体・施工									
大会リハーサル									
国スポ開催									

■事業実施工程(PPP/PFI手法)

作業項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
基本計画・導入可能性調査									
国庫申請									
事業者選定									
基本設計・実施設計									
各種手続き等									
解体・施工									
大会リハーサル									
国スポ開催									

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

6 アンケート調査の実施について【アンケート調査実施のご連絡】

- ◆ 今後、沖縄県では新しい水泳プールの基本計画の策定及び導入可能性調査の検討を進めてまいりますが、この検討にあたり、民間事業者の皆様から、本事業に関するご意見をお伺いしたいと考えています。
- ◆ 本事業にご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、次頁の連絡先までご連絡をお願いします。ご連絡をいただいた民間事業者様には、別途本事業に関するアンケート調査票をお送りします。※

■ご意見をお伺いしたい主な事項

下記の事項についてご意見をお聞かせください。

- ①本事業へのご関心、参画を検討する場合のご担当業務、参画にあたって希望する条件
- ②望ましい事業スキーム(事業手法、事業範囲等)
- ③事業実施にあたって懸念されるリスク
- ④民間収益事業の成立可能性
- ⑤本事業へのご意見・ご要望

※アンケート調査票のご案内については、「県総合運動公園水泳場全面改築に係る基本計画及びPFI導入可能性検討業務」の受託者である、株式会社みずほ銀行及び株式会社りゅうぎん総合研究所からご案内を差し上げる場合がございます。

沖縄県総合運動公園におけるプールの改築について

本日はご清聴ありがとうございました。
本件に関するお問い合わせは以下の連絡先までご連絡ください。

【お問い合わせ】

沖縄県

文化観光スポーツ部

スポーツ振興課 国スポ・全スポ準備室

Tel: 098-917-2034

Mail: aa082200@pref.okinawa.lg.jp

受託者

株式会社みずほ銀行 みずほ総合研究所

ソーシャルイノベーションコンサルティング部

官民連携イノベーションチーム

株式会社りゅうぎん総合研究所

地域デザイン部

Mail: okinawa_swim@mizuho-rt.co.jp